

「私学版大学ポートレート」及び「大学の個別データの一覧化と公表」  
に対する基本的考え方

令和 4 年 1 月 2 1 日  
日本私立大学協会

令和 3 年 2 月の大学ポートレート運営会議において、私学事業団に対して「私大の個別データの一覧化と公表」について私立大学関係者の意見確認が求められたことについて、本協会では令和 3 年 11 月 12 日開催の第 516 回常務理事会において以下の結論を得たので回答する。

- 私学版大学ポートレートは、受験生・その保護者・高等学校関係者を主な対象として、私立各大学の個性や教育上の特色を紹介し、いわゆる「偏差値」による大学選びではなく、「学びたいこと」による大学選びに資することを第一義に構築されている。
- その目的の実現に向けて、これまでも可能な限りの改善・充実が図られてきたが、今後もそのための改善や普及啓発を継続して、一層の充実を図っていくことがなお必要と考える。
- よって、今後の検討においては、以下の点についての配慮が必要である。
  - ①私学版大学ポートレートは私学の自主財源で運営されており、その財源も厳しい状況にある現実に鑑みれば、今後も私学版大学ポートレートが第一義に掲げる当初目的の実現に傾注して、その運営がなされることが求められる。
  - ②その上で、この度、検討の俎上にあがっている国公私立共通の個別大学データベースについては、そもそも経営基盤や運営方針が異なる国公立大学と私立大学を一覧化し比較することに根本的な問題があると言わざるを得ない。
  - ③設置目的や教育目標、規模や所在地等が多種多様な私立大学の個別データを一覧化し、公表することは風評被害や不本意なランキング化等を招きかねず、私学版大学ポートレートが第一義に掲げる目的とも逆行しかねないと考える。

以 上